

カタロ通信

VOI.149
2010年 7月号

<http://www.e-kitazawa.com/>

㈱北澤工務店

301-0855
龍ヶ崎市藤ヶ丘 7-1-7
TEL : 0297-60-1333
FAX : 0297-60-1311
e-mail : info@e-kitazawa.com

カタロ

301-0855
龍ヶ崎市藤ヶ丘 7-1-12
TEL : 0297-60-1666
閉館日 : 水曜日
e-mail : kataro@e-kitazawa.com

甘味café 空~くろ~

301-0855
龍ヶ崎市藤ヶ丘 7-1-12
TEL : 0297-63-0730
定休日 : 水曜日
e-mail : kuu@e-kitazawa.com

財団法人性能保証住宅登録機構加盟建設業許可茨城県知事(般-17)第22696号 宅地建物取引業者茨城県知事免許(3)第5344号

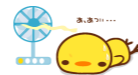
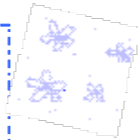
ピースアクセサリー C-コレクション 夏の展示即売会のご案内 恒例!!



夏のおしゃれのお手伝いに
たくさんの作品をそろえてお待ちしております。
す。



日時 : 2010 7月9日(金)
場所 : カタロにて
時間 : 10:15~16:30
連絡先: 0297-66-9446(泉)



伝言板



カタロにて

日時: 7月17日(土) 13:00~15:00
24日(土) 13:00~15:00
26日(月) 14:00~16:00

- ★ 体験 ¥3,000(全て込み)
- ★ 7、8月はOne dayレッスン可能なさわやかなサマーアレンジをいくつかご用意しています。詳しくはお問い合わせ下さい。

お問合せ・お申込み
片岡 090-7267-4498
HP <http://p-f-cherie.petit.cc/>

甘味café 空~くろ~で
一日オーナー“になってみませんか!”



ケーキ・和菓子・飲み物・ランチetc..
ちょっとした喫茶店を貸しきってのホームパーティ
のようにたくさんの方々に腕をふるってみては!?
もちろん私達スタッフもお手伝いさせていただきます。



★お友達やご夫婦で是非どうぞ!!
詳しくは 0297-60-1666(カタロ)まで



6月吉日 龍ヶ崎市 O様邸 『地鎮祭』が執り行なわれました。

おすすめ商品 今月の ドットコム

TOTO超節水便器
グリーンマックス4.8L
ウォシュレット一体形便器

CES9411 定価 225,000(税別)
30%OFF!!
157,500円(税別)



※工事費は別途となります。
※お気軽にお電話下さい。

限定2台!!

北澤工務店が、数ある商品の中から選りすぐったものを、どこよりも安い.com 価格でご提供させていただきます。



...北澤工務店&甘味Cafe空~くろ~から...

7月の空



ミニショップは...

『T's club』
『プチ&パンプ』

メニューは...

『かき氷』と『冷やしぜんざい』始めました!! (夏季限定)
『気まぐれケーキ』始めました!

エコクラフトかご
古布洋服バック 木工





6月14日(月)は『雨宮さんのケーキの日』でした。この日から“入梅”でしたが、さすが雨宮さん。知り合いの方、ご友人の方でいつの間にか満席。。。あつという間に3種類のシフォンケーキが完売となってしまいました。



盛り付けをする雨宮さん



『オレンジシフォンケーキ』オレンジジュース、オレンジピールの入ったさわやかシフォン



満席の店内。



可愛いらしい、ケーキやクッキー。



笑顔で楽しいひと時を・・・

野菜ソムリエが作るおやさしのコース

毎月恒例になりつつある、酒井さんの『野菜のコース』! 『野菜ソムリエ』ならではのお料理が楽しめます。酒井さんの優しい笑顔見たさのリピーターも多いとか・・・



お料理に腕を振るう真剣な酒井シェフ



リピーターのお二人。



バーニャカウダ用の新鮮野菜



準備をするスタッフ



お客様にぎわうテラス側

夏季限定!

かき氷、冷やしぜんざい、始めました〜

空〜ら〜からのお知らせ

『気まぐれケーキ』始めました〜



空〜く〜のかき氷 550円
いちごミルク 400円
いちごミルク 450円
いちごミルク 300円



冷やしぜんざい 450円



今年も『かき氷』の季節がやってきました! 夏季限定のメニューを是非お試しください!
おなじみのチーズケーキ、チョコレートケーキに新たに『気まぐれケーキ』が登場。。。今回はさわやかな『オレンジシフォンケーキ』です! 気まぐれなのでいつ何のスイーツに変わるかわからないので・・・お楽しみに!!

梅雨の季節もたけなわ、いかがお過ごしですか。蒸し暑くて、ぼくら人間にとってはエラクうとうしい季節ですが、自然界にとっては待ちに待った恵みの季節なんですね。緑もどんどん濃くなり、庭の草たちなんて抜いても抜いても次から次へと生えてきます。すごい生命力です。

さて今月は、北澤工務店の家づくりの要、『職人』について書いてみたいと思います。

《在来工法の魅力》

北澤工務店は、下請け工事や公共工事、店舗やアパート、建売住宅や木造以外の建築工事はやっていません。(というかできない???)

それは、木で造る家づくりが好きだから。お客様と共に造る家づくりが好きだから。そしてこのやり方がほんものだと信じているからです。

でも『在来工法』と呼ばれている私たちの施工方法は、長所ばかりではなく短所もあります。モノの本にはだいたいこんなことが書いてあると思います。

『在来工法は、伝統的な工法を現代的に構築した工法で、土台・柱・梁といった構造材で構成されます。間取りの自由度が高い、比較的成本が低いなどのメリットがありますが、システム化された工業化住宅と異なり、施工する職人の技量によるバラツキがやすいという欠点があります・・・云々』

確かにそうだよなあ、と経験上、そう実感します。職人によりバラツキが出るのは事実です。嫌な思いもたくさんしてきました。

でも、でもですよ、先ほどの文章を逆手に取ると、こんな風にもいえると思うのです。

『在来工法は、伝統的な工法を現代の基準に照らし合わせた最新の工法です。間取りの自由度も高く、比較的成本も低い。施主が工務店の技量を見極めることさえできれば、その人にとって最良の家を手にすることができます。システム化された工業化住宅は、「可もなく不可もなく」の家であり、一定の品質が期待できるものの、企画化・パターン化された家づくりで、もはや職人の技量など必要としない家づくりです・・・云々』

《職人の姿》

最近ぼくは現場によく顔を出します。毎日ブログを書くようになったものですから、カメラ片手に『ネタ探し』です。現場に行くと職人がいます。職人と話す機会が以前よりも多くなりました。つくば市のH様邸を例に書いてみたいと思います。

大工さんは家づくりの要です。『棟梁』という言葉が全てを表しています。H様邸の現場でこんなことがありました。

階段下の空間を『ほら穴みたいになりたい』と思ったあたりからには2次元のアールではなく3次元のアールにしたい。イメージだけを大工さんに伝えたところ、見事にそれをやってくれました。薄い板を網代に組み合わせ、3次元のアールの壁面を作ったのです。大工さんの創意と工夫がこの『ほら穴』を実現したのです。『すごいねえ〜』と他の職人たちの話題に上ることしきりでした。

その『ほら穴』をしっくい仕上げるのは左官屋さんです。『ほら穴の縁を割れないように、しかも波を打つように自然な

感じて、中はぐじゃぐじゃな感じ・・・』とやはりイメージだけを伝えました。そしてこれまた見事に仕上げてくれたのです。ぼくのイメージ以上の仕上がりでした。

先日その左官屋さんが事務所に来て、目が合うなり開口『ほら穴は見てくれたかあ。どうだあ〜いいだろお〜!!』と!!! 左官屋さんいわく、『夢に出てくるほどいろいろ考えた』のだそうです。職人としての喜びを感じているような笑顔でした。



そのH様邸。外部のウッドデッキから立ち上がる壁面には自然石を張ることにしました。タイル屋さんの出番です。自然石ですから、一枚として同じ大きさのものはない。まるで難解なパズルを組み合わせるかのようです。でっかいやつばかりでも格好悪いし、ちっちゃいやつばかりでもダメ。正方形みたいなやつとか長方形、厚いやつやら薄いやつ・・・をうまく加工して、原寸大のベニヤの上に仮置き。機械で切ってしまうと直線になってしまうので、玄翁でカチカチと少しずつ割りながら・・・

無事に仕上がってタイル屋さんと一緒に仕上げた時、『いいなあ〜!!!』とほそりひと言。仕事への思い入れがびんびん伝わってきました。



『しゃちょう、あんまり言いたくないんだけど、もう少し考える時間をくれよ・・・』とは、建具職人。

北澤工務店は既製品を使わない家づくりが好き。建具に関してもそうです。職人が一本一本手づくりする。しかし現代の主流は『ユニット建材』と呼ばれる既製品です。すべてカタログに載っていて、そこから選ぶ。枠材も一体となっているので見た目がとってもきれいだ。でも『ハリポテ』なんです。。ぼくにとっては『ニセモノ』です。

その建具職人は、材料の吟味から始まって仕口や加工にこだわります。ぼくはまた例によって『こんな感じ〜』とか言うだけなのですが、それをいろいろと想像力を発揮して形にしてくれる。先日も『しゃちょうはこうしろって言ってたけど、材料を覗いたらこういうふうなやり方もおもしろいんじゃないかと思って・・・』なんて言って来ました。ぼくはそういうのがすごくうれしい。施主様を思いながら、いろいろ考えながら造りたい。それがほんものの職人の本望かもしれない。



他にも北澤工務店の家づくりには、たくさんの職人が関わります。全員とはいえませんが、多くの職人が前述のような『思い』を抱きながら仕事に励んでくれている。

《やっぱり人間大好き》

『在来工法は職人によるバラツキが出やすい!!! なにを言ってるか!!! って感じですね、ぼくからすれば。人間が住む家を人間が造る。その方がいい。ぼくは単純にそう思う。企画化された工業製品である新建材で造る家で満足できる人はそれでいいと思う。メーカーの保証やステイタスを選択するならそれも結構。

でも、少なくともぼくはそういう流れに逆行する。職人が自らの仕事に誇りを持ち、それがちゃんと報酬として認められ施主様の喜びと共に『家というカタチ』になるような家づくり。それがぼくの理想・・・共感してくださる方、これからもがんばりますのでどうぞ見守ってください。

